

第92回しみず新事業創出研究会 議事録

事務局

日時 2011、2、8（火） 11:30～15:30

場所 商工会議所 5F

出席 30人（ ）

内容

1、第92回しみず新事業創出研究会 出席30人

1) 中西会長情報提供

(1) 「四国地域研究開発プロジェクト事業化支援検討会議」に呼ばれた。この会議は国の助成を受けた事業について、経産省から“支援をしているものの出口が見えていない、他の地域での取組や意見を話してほしい”と要請があり。2月2日出席した。

(1-2) 展開している事業は

① 「小豆島オリーブ葉機能性高濃縮エキスの開発」(H20 地域資源活用型研究開発：JST)

② 「柑橘精油の未利用成分を用いた防虫製品の開発研究」

③ 「配向性板状チタン酸バリウム粒子を用いた鉛フリー圧電素子の開発」

(H20～21 地域イノベーション創出研究開発事業・・・経産省)

④ FBG (ファイバーブラッググレーティング) を使った光センサー及びセンサーシステムの開発と販売 (経産省)

- ・①はオリーブの実の収穫後の剪定葉(焼却処分)からエキスを抽出・利用の研究、方法等は特許を提出、50L/日のエキス製造が可能になったが、出口が全くない。血糖値も下がるとのデータも得たが、研究の範囲を出ていない。コストと出口のすり合わせも不足。
- ・②化学・商事関連と大学・公設試のプロジェクトである。穀物袋、防虫紙、段ボール、等の試作と評価は行った。市場規模1000億円から見て用途はありそうだ、マスコミにも掲載されたが一過性、いまだ出口なし。頭が痛い。
- ・③神島化学他化学企業・高知大・山梨大・地域公設試と組んでかなりのエネルギーを投入。本格的な商品開発が進んでいない。
- ・④香川県の電線メーカーが開発、2007年から販売するも伸びていない。中国製品の進出、ソフト開発不十分等。課題多し。

(2) 韓国のLEDメーカーに採用されたスパイラルヒートシンクについて。

大日工業㈱で3000ヶ作ってもらい出荷。韓国でLED照明に採用され、日本のGSに再上陸。彼らの戦略的決断の考え方を学べ。(日本でこのヒートシンクを採用しているか? 採用していなければ我々が採用する。) このままでは日本は後れをとる。

(3) サンスターの接着剤・・・発泡接着剤を塗布(液だれなし)→成型(80℃で固化)

殆どの物に利用可能。接着剤の性能もさることながら、使い勝手のアイデアが素晴らしい。

2) 発明協会から特許の目の付けどころ・ヒントの紹介他 特許流通アドバイザー 風間氏

(1) 静岡県にも知財戦略が出来る・・・全国各県では知財戦略策定し、知財について保護・活用・育成に取り組んでいるが静岡県ともう一県のみこの戦略がなく、全国会議の招集や、情報交換からも漏れていた。今回やっと戦略立案の動きが出てきた、風間氏もそれに関わっている。

(2) かつて中西会長が鈴木総業㈱時代に取得した「曲面印刷」の特許の例を出し、基本特許を中心にアプリケーション特許を次々と出願し、これによって現在尚その効力を維持している事

を分かりやすく紹介した。

2) 創業者育成室事業所からの情報提供 福祉サポートセンター栄光 代表 岡本恭一 氏

「高齢者介護福祉施設探し」「〃代理サービス」の事業を立ち上げ、会議所ビル7Fに入居、現在事業としては難しい状況にあり、この研究会でその説明紹介を行い、研究会員からの助言を受ける機会をもった。

3) その他

(1) 商工会議所「静岡ものづくりフェア&食の彩典」2月19～20日 の案内

(2) 「第5回山梨産学官連携シンポジウム」2月14日甲府の案内。中西会長の講演あり。